



木曾 京花 (きそ きょうか) 第一小3年生

作品名：心のやさしいジャレットへの手紙

図 書：ジャレットのきらきら魔法

私はこの夏すてきな本に出会いました。その本の名前は「ジャレットのきらきらまほう」です。主人公のジャレットは、心やさしいハーブま女で薬作りの天才・トパーズのいさんを相続した人間の女の子です。パパとママとはなれて一人ぐらしをしています。お友だちのスーやエイプリル、たくさんのかわいいねこたちと毎日楽しくすごしています。ジャレットのゆめはハーブの薬屋さんになることです。トパーズのレシピブックをさんこうに、お友だちに、アロマオイルや薬を作っています。私はこの本を読んでいくうちにジャレットが大好きになりました。思いやりがあってみんなと仲よしになれるからです。今日はジャレットに手紙を書きたいと思います。

『ジャレットちゃんへ

こんにちは、ジャレットちゃん。はじめまして私は京花です。お話の中で出会いましたね。ジャレットちゃんは、いろいろなお薬を作ってすごいね。私もみならいたいな。さい初は、ケリーにお薬の作り方やいろいろなオイルの作り方を教えてもらっていたのに、ケリーがかぜをひいた時にお薬を作ったあげたらなおってすごいね。私は合気道をなっているから、いつかみんなのためになりたいな。ジャレットちゃんは、いっぱい友だちがいていいね。何があっても友だちを一番に考えてあげてやさしいね。本の中を通じて、ジャレットちゃんと友だちになれてうれしいな。また会いたいから本を読むね。読んだらお手紙書くね。また本の中で会おうね。トパーズそうにさいていたお花はきれいだね。私はお花が好きだから見に行きたいな。じゃあね。』

私は今まであまり本を読む事がなかったけれど、この夏休みに読書する楽しさを知りました。これからは、もっとたくさん本を読んで、いろんな主人公とお友だちになりたいです。